



キミと一緒に、育っていきたい。
Komaki

topics

- 令和8年度一般会計予算特集
- 令和8年度一般会計予算を含む議案53件を可決
- 4会派が代表質問、
10人が個人通告質問を実施
- 市議会議員補欠選挙が執行



2026

5

No.214



『春の小牧山』
(令和8年4月3日撮影)

“安全・安心・快適な市民生活を最優先” 「令和8年度小牧市一般会計予算」を可決



一般会計

726.8億円

(対前年度比3.3%増)

特別会計

287.6億円(前年度比1.8%増)

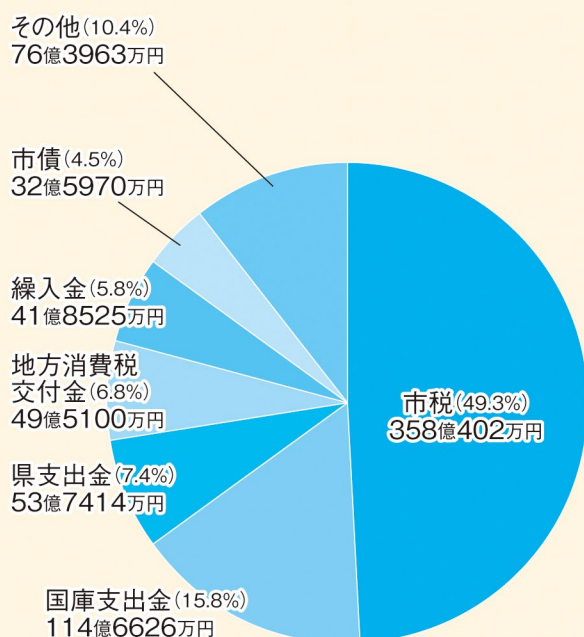
企業会計

386.9億円(前年度比0.4%増)

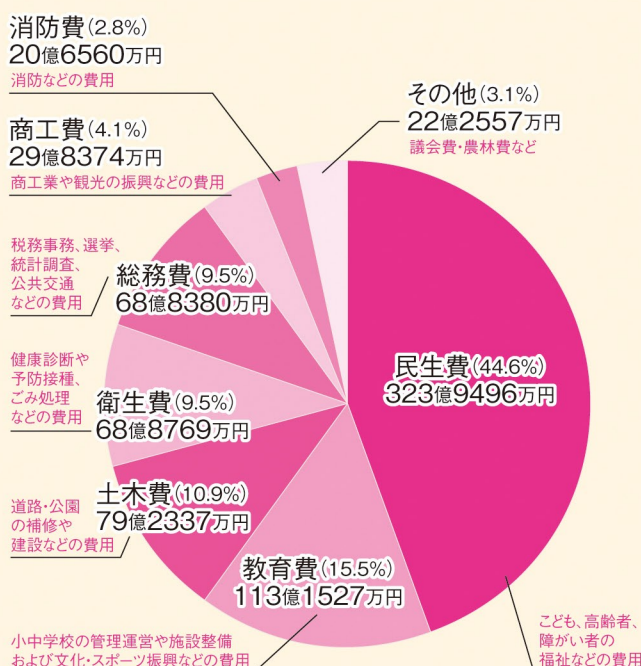
全会計合計

1401.4億円(前年度比2.2%増)

歳入



歳出



- 市税収入が、対前年度当初比5.3%増となった。⇒ 個人所得及び納税義務者の増加により個人市民税を増収と見込んだことなどによる
- 県支出金が、対前年度当初比14.5%増となった。⇒ 施設型教育・保育給付費等負担金や給食費負担軽減交付金の増などによる
- 市債が、対前年度当初比28.3%増となった。⇒ 教育債や民生債の増などによる

※1万円に満たない額は切り捨てて表記しているため、実際の額とは異なります。

令和8年度一般会計予算は、歳入（市の収入）では、根幹をなす市税収入において、個人市民税と法人市民税の増収見込みにより、対前年度比で増収となっている。

歳出（市の支出）では、社会保障関連経費や人件費の増加に加え、公共施設の老朽化に伴う修繕・改築費用の増加など、依然として様々な経費が上昇基調にあるほか、近年の制度改正や国の政策による地方負担額の増加が予算総額の増大に繋がっている。

このような財政状況下にあっても、安全・安心・快適な市民生活を最優先に据え、重要施策については優先的に予算を配分するとして編成された一般会計予算、726億8000万円（対前年度比3.3%増）を、審議の結果、賛成多数により可決した。

なお、令和8年度の予算規模は、一般会計、特別会計及び企業会計の合計で1401億3632万円（対前年度比2.2%増）となっている。

令和8年度予算 新規・充実等の主な事業

給食費の負担軽減

充



小中学校の給食費の無償化を拡充

マイボトル給水機を設置

新



熱中症予防のため小中学校に各校2台ずつ給水機を設置

5歳児健康診査の充実

充



5歳児健診において、歯科医師による口腔機能発達検査を実施

第20回アジア競技大会の開催・運営を支援



第20回アジア競技大会に向け、市スポーツ公園総合体育館の仮設設備の費用を一部負担し、円滑な開催・運営を支援

企業の新展開支援

新



市内企業のデジタル化や人材確保などを支援し、サイバーセキュリティ対策促進補助金を創設

地域公共交通の検討

新



「こまくる」等公共交通機関に自動運転やデマンド型交通等を加え、地域の実情に応じた最適な公共交通のあり方について検討を実施

消防のDX 推進

新



消防への申請・届出の電子受付・電子審査を実施

児童クラブの運営委託

新



篠岡地区の児童クラブ運営を民間事業者へ委託

第1回定例会

会期 3月9日から3月27日
までの19日間

条例案17件をはじめ、合計53議案を審議しました。
上程された主な議案と審議結果は次のとおりです。

条例

▽農業公園の設置及び管理に関する条例の制定

身近な農業を通して食の大切さを理解する場とするとともに、里山を活かした自然環境とのふれあいを通して農業振興の発信の場とするため、農業公園を設置する。

(令和10年4月1日施行)



▽温水プールの設置及び管理に関する条例を廃止する条例の制定

温水プールを廃止するもの。
(令和8年4月1日施行)

▽小牧山歴史館等の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定

市の歴史及び小牧山の歴史的価値、魅力、自然等に関する情報を発信するため、こまき歴史発見館を設置する。(規則で定める日から施行)



一般

▽小牧文津調整池整備工事請負変更契約の締結

調整池を整備するに当たり、地下水の漏水があったことによる治水対策及び鉄筋部材の変更やコンクリートのひび割れ対策が必要になったため変更契約を締結する。

▽事故に係る損害賠償の額の決定

市民病院における事故に係る損害賠償の額(3650万円)を決定するもの。

補正予算

一般会計補正予算は、歳入歳出それぞれ28億1643万7000円減額し、705億4255万9000円とするものです。
主なものは次のとおりです。

【歳入】

・個人市民税

5億200万円(増額)

・法人市民税

9億6000万円(増額)

・財政調整基金繰入金

17億4102万4000円(減額)

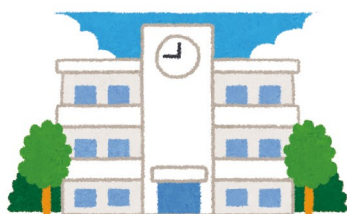
・校舎等改築事業債

8億6350万円(減額)

【歳出】

・退職手当

2億8268万7000円(増額)



・総合経済対策に伴う臨時給付金(定額減税不足額給付)支給事業

1億7019万4000円(減額)

・北西部地区公園整備事業

4億9141万円(減額)

・小学校施設整備事業

12億7729万2000円(減額)

人事

▽副市長の選任

石川 徹氏(新任)

▽固定資産評価員の選任

笹原 浩史氏(新任)

請願審議

▽住民合意のない学校再編・統廃合の中止を求める請願書

…不採択

第 1 回 定 例 会

◇上程議案と審議結果◇

※否決された議案はありませんでした。

議決結果	件 名	議決結果	件 名
	条例案 17件		令和7年度補正予算案 12件
全員一致	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定	全員一致	一般会計補正予算(第9号)
全員一致	農業公園の設置及び管理に関する条例の制定	全員一致	土地取得特別会計補正予算(第1号)
全員一致	火災予防条例の一部を改正する条例の制定	全員一致	国民健康保険事業特別会計補正予算(第5号)
全員一致	休日急病診療所の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定	全員一致	尾張都市計画事業小牧文津
全員一致	温水プールの設置及び管理に関する条例を廃止する条例の制定	全員一致	土地区画整理事業特別会計補正予算(第3号)
賛成多数	小牧市立学校運動場照明施設使用料条例の一部を改正する条例の制定	全員一致	尾張都市計画事業小牧岩崎山前
賛成多数	災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例の制定	全員一致	土地区画整理事業特別会計補正予算(第3号)
賛成多数	介護保険条例の一部を改正する条例の制定	全員一致	尾張都市計画事業小牧南
賛成多数	国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定	全員一致	土地区画整理事業特別会計補正予算(第3号)
賛成多数	家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定	全員一致	尾張都市計画事業小牧本庄
賛成多数	特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定	全員一致	土地区画整理事業特別会計補正予算(第3号)
賛成多数	乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定	全員一致	介護保険事業特別会計補正予算(第4号)
賛成多数	建築物における駐車施設の附置等に関する条例の一部を改正する条例の制定	全員一致	後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)
賛成多数	児童遊園の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定	全員一致	病院事業会計補正予算(第4号)
賛成多数	水道事業給水条例及び下水道条例の一部を改正する条例の制定	全員一致	下水道事業会計補正予算(第4号)
賛成多数	市立学校設置条例の一部を改正する条例の制定	全員一致	一般会計補正予算(第10号)
賛成多数	小牧山歴史館等の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定		
	一般議案 10件		令和8年度予算案 12件
賛成多数	高速自動車国道中央自動車道西宮線と交差する小牧市管理の高速道路跨道橋(大仙橋)に係る撤去工事に関する実施協定の一部を変更する協定の締結	賛成多数	一般会計予算
賛成多数	小牧文津調整池整備工事請負変更契約の締結	賛成多数	土地取得特別会計予算
賛成多数	事故に係る損害賠償の額の決定	賛成多数	国民健康保険事業特別会計予算
賛成多数	春日寺会館等の指定管理者の指定	賛成多数	尾張都市計画事業小牧文津土地区画整理事業特別会計予算
賛成多数	本庄台老人憩の家等の指定管理者の指定	賛成多数	尾張都市計画事業小牧岩崎山前土地区画整理事業特別会計予算
賛成多数	道路線の廃止	賛成多数	尾張都市計画事業小牧南土地区画整理事業特別会計予算
賛成多数	道路線の認定	賛成多数	尾張都市計画事業小牧本庄土地区画整理事業特別会計予算
賛成多数	専決処分の承認	賛成多数	介護保険事業特別会計予算
賛成多数	専決処分の承認	賛成多数	後期高齢者医療特別会計予算
賛成多数	補助金事務の誤りに係る和解及び損害賠償の額の決定	賛成多数	病院事業会計予算
		賛成多数	水道事業会計予算
		賛成多数	下水道事業会計予算
			人事案 2件
		賛成多数	副市長の選任
		賛成多数	固定資産評価員の選任

表決結果の分かれた議案

※議員名は会派別、50音順です

第1回定例会	牧 政 会								こまき民主 市議団				日本共産党 小牧市議団		公 明 党 小牧市議団			無会派								
	阿部 哲己	石田 知早人	河内 伸一	小島 倫明	佐藤 悟	鈴木 裕士	永井 孝典	舟橋 秀和	余語 智	小川 真由美	小沢 国大	諸岡 英美	谷田貝 将典	猪飼 健治	安江 美代子	山田 美代子	加藤 晶子	佐藤 早苗	星熊 伸作	伊藤 皇士郎	大上 利幸	河内 光	木村 哲也	黒木 明	清水 隆宏	
小牧市立学校運動場照明施設使用料条例の一部を改正する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	欠席	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
介護保険条例の一部を改正する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	欠席	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	欠席	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	欠席	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市立学校設置条例の一部を改正する条例の制定 ※	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠席	○	×	×	×	○	○	○	○	×	○	○	×	×	×
令和8年度一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	欠席	○	×	×	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
令和8年度国民健康保険事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	欠席	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和8年度介護保険事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	欠席	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和8年度後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	欠席	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和8年度下水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	欠席	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
副市長の選任	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	欠席	○	退席	退席	退席	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○

■ 表示は、「○:賛成」、「×:反対」、「退席」、「欠席」です。

■ 賛否の分かれたものの結果については、議員からの申し出に基づき掲載しております。

■ 議長は、通常、採決には参加していませんが、採決の結果、可否同数の場合にのみ態度を表明できます。

※特別多数議決により議長も表決権を有することから、態度を表明しています。

委員会審査報告

主な審査内容と結果を
お知らせします。

総務委員会

火災予防条例の一部を改正する条例の制定

結果 全員一致で可決

火を使用する設備等に簡易サウナ設備を追加

問 条例改正に至る背景について問う。

答 従来の建物内に設置されているサウナ設備と異なり屋外等に設置する『アント』型や『バレル』と呼ばれる『木樽型』のサウナ設備が全国で増加しており、現行のサウナ設備の基準より消費熱量が小さいサウナ設備に適用される基準を定める必要が生じたことから、関係省令等について所要の改正が行われたため条例を改正するものである。



引用元：総務省消防庁



引用元：総務省消防庁

福祉厚生委員会

小牧市立学校運動場照明施設使用料条例の一部を改正する条例の制定

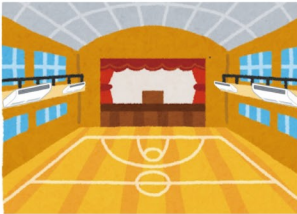
結果 賛成多数で可決
(賛成5人、反対1人、欠席1人)

学校開放事業で利用する際の体育館の空調設備使用料を設定

問 小中学校体育館に設置された空調設備使用料の積算根拠について問う。

答 小中学校でそれぞれ午前9時から午後9時まで空調設備稼働した際に要する電気とガス料金を試算して、実費相当額を使用料とした。

小中学校で
使用料が異なるのは、体育館の広さが違うことから設備の構成が異なるためである。



文教建設委員会

市立学校設置条例の一部を改正する条例の制定

結果 賛成多数で可決
(賛成4人、反対2人、欠席1人)

篠岡地区の学校再編に伴う小中学校の廃止と設置

問 篠岡地区の学校規模適正化に向けた条例改正の考え方について問う。

答 一部の学校の校舎を活用するものの、既存の学校名を残すのではなく、篠岡地区の小中学校すべてを廃止し、新たに小学校2校と中学校2校を設置するものである。

篠岡地区における学校再編は、いわゆる統廃合ではなく、篠岡地区の全小中学校が対等の立場で、学校の再編成をしようとするものであるため、これまでの学校の特色を生かしながら地域が一体となって、新しく学校を創っていくという考えから、新しい学校名とするものである。

予算決算委員会

令和8年度一般会計予算

結果 賛成多数で可決
(賛成19人、反対4人、欠席1人)

〈総務分科会〉

まちづくり推進計画の策定

問 まちづくり推進計画推進事業の内容や策定方法、市民参加の考え方について問う。

答 市の最上位計画である「小牧市まちづくり推進計画第2次基本計画」を見直し、次期計画策定のため、市民アンケートや計画図書データの作成を行う。

次期計画の策定にあたって、生成AIの活用により現状分析や人口推計などを作成する。市民アンケートで満足度、重要度を把握し、審議会でも多様な視点を取り入れつつ、ICTの活用等を図り、実行性ある計画を職員が主体となり作成していく。



〈福祉厚生分科会〉

こども誰でも通園制度に係る施設への給付

問 乳児等通園支援給付費の内容について問う。

答 こども誰でも通園制度の実施に係る私立保育園、認定こども園、小規模保育事業所に対する給付である。それぞれの施設状況を考慮し、年齢区分に応じた単価を乗じて積算をしており、0歳児を一人受け入れた場合、1時間につき1700円、1歳児、2歳児については、一人受け入れた場合、1時間につき1400円を給付するものである。

実施施設は公立3施設、民間8施設の11施設を予定している。



〈文教建設分科会〉

篠岡地区でスクールバスを運行

問 債務負担行為「スクールバス運行業務委託料」の事業内容を問う。

答 令和8年度の早い段階で業者選定を行い、令和8年度中に実施する、体験乗車会やプレ登下校を実施した上で、令和9年度からスムーズにスクールバスの運行が開始できるよう準備を進めていくことを考えている。

また、スクールバスの運行には、バスの車両や運転手の手配など、多くの事前準備が必要であり、毎年度事業者を入札にて変更することは、事業者にとっても負担となり望ましくないことから、令和8年度の準備期間も含めた、令和11年までの4か年において、債務負担行為の限度額を設定し、複数年において契約を締結し、スクールバスの円滑で安定的な運行をめざすものである。



市議会議員補欠選挙

令和8年2月22日に執行された市議会議員補欠選挙により、新たに次の議員が当選されました。

掲載項目は、①所属政党、②所属会派、③当選回数、④所属委員会です。



木村 哲也
きむら てつや

- ① 無所属
- ② 無会派
- ③ 4回
- ④ 総務委員会



清水 隆宏
しみず たかひろ

- ① 無所属
- ② 無会派
- ③ 1回
- ④ 福祉厚生委員会

委員会委員の一部変更

次のとおり委員会委員の構成を一部変更しました。

▽総務委員会

(2月26日付け)

余語 智…辞任
木村 哲也…就任

▽福祉厚生委員会

(2月26日付け)

阿部 哲己…辞任
清水 隆宏…就任



牧 政 会
佐 藤 悠

悟



動画をチェック

施政方針

問

- ① 市政運営について問う。
- ② 令和8年度予算について問う。

答

① 今日の小牧市を築き上げてきた皆様に感謝を申し上げる。挑戦と選択、経営努力の結晶である豊かな財政基盤を責任をもって引き継ぎ、今後の市政運営に当たる。基本姿勢として、前市政の土台を尊重しつつ改革と挑戦を重ねていく。小牧市まちづくり推進計画第2次基本計画に掲げる3つの都市ヴィジョンを柱に、地域運営の再構築と支え合う地域づくり、防災対策を進める。市役所のDXと業務の合理化を進め、能力を発揮できる職場環境を整備し、質の高い行政サービスを安定的に提供する。

② 前市政の路線を基本的に継承している。その中でも特に重きを置いたものは、「子育て支援」と「企業立地」。子育て支援では、本市独自に実施している0歳児から2歳児までの保育料無償化の継続、すくすく子育て応援事業ではデジタルギフトの導入、県下初となる5歳児健診時の口腔機能検査の追加、国・県補助金も活用した学校給食の完全無償化を実施。企業立地では、サイバーセキュリティ対策促進補助金やIT・スタートアップ企業オフィス等開設補助金の創設、デジタル化支援補助金の継続、企業立地

市政戦略編の取組

問

- ① 篠岡地区学校再編について問う。
- ② 「こども夢・チャレンジNo.1都市」を継承するための今後の取組について問う。

③ 人生100年時代を見据えた市民の健康づくりについて問う。④ 「魅力と活力のある中心市街地の創出」について問う。⑤ 持続可能な社会を支える産業・経済の確立について問う。

答

① 篠岡地区の学校再編については、児童生徒数の減少と学校施設の老朽化の課題やこれまでの経緯等を重く受け止め、前市政の基本的な考え方を引き継いで令和9年度に実施する。児童生徒、保護者の負担を可能な限り減少させられるよう、引き続き教育委員会と連携して取り組んでいく。

② 待機児童対策として需要増を見込み保育施設整備のほか、第二・さくら・山北の各園の改築を前倒す。保育士確保策として公立は今後4年間で段階的に36人の増員、あわせ令和15年4月に北里・藤島両園の統合・民営化の実施により確保、私立は市独自の補助金等により確保する。こまきこども未来館の運営について、現委託契約終了後に全館を指定管理化するとともに館内に「子ども・若者総合相談センター」の設置を検討する。指定管理化にあたり「こども若者財団」を新設し、未来館だけでなく若者支援

促進補助金の延床面積要件の緩和など。その他、前市政から取り組んでいる事業も引き続きしっかりと進めていく。

を一体的に担う体制構築を検討する。

③ 都市ヴィジョン「健康・支え合い循環都市」の実現に向けた取組を、さらに進化させていく。予防医療や検診受診率の向上、健康や運動、歩いて楽しいウォーカブルなまちづくり、フレイル予防、ヘルスラボ・こまきの有効活用などにより、市民の皆様が生涯を通じて健やかで、生きがいを持って豊かに暮らせるよう全力で取り組む。

④ 中心市街地グランドデザインに基づき、令和7年度はコマンカmeetやこまき山イーストパークの整備などを行った。中心市街地活性化に向けては、多様な主体の参画、情報発信体制の強化、まちなかウォーカブルの推進といった課題があり、令和8年度はこれらを踏まえて取組を進めていく。小牧駅前広場等の再整備については、現在「小牧駅前広場等整備基本計画」の作成を進めており、本年夏頃から秋頃にかけて策定する予定である。

⑤ 本市は、先人のご努力や、高速道路網などの交通アクセスに優れた立地条件を生かし、産業集積が進んだことにより、現在、産業用地が不足している。こうした状況下でも、限られた用地の活用と、市内企業の市外流出を防ぐべく、本市の独自制度である「企業立地促進補助金」の拡充や、スタートアップ企業への補助金を創設するなど、将来にわたって、経済・雇用・財政の基盤が確立された活力あるまちを構築していく。

- その他の質問
- ・ 分野別計画編の取組
- ・ 自治体経営編の取組





こまき民主市議団
小沢 匡大



動画をチェック！

市長マニフェスト

問

未来の小牧にワクワクできる公約の実現を！

市長選挙にて未来の小牧にワクワクと題して様々なマニフェストを掲げられていたが、無投票となり選挙公報等に記載される事がなかったため、その内容を知らない市民の方がほとんどである。具体的に掲げられている内容について問う。

答

市長選挙で掲げたマニフェストは、施政方針の考え方を土台に、5分野で20項目の取組として整理した。

子育て・教育分野では、こどもたちが安心して通学できる環境づくりや民間プールを活用した水泳授業の導入検討を掲げた。

医療・福祉分野では、予防医療や健康運動の推進などによる健康で支え合うまちづくりの推進、ウォーカブルなまちづくりやフレイル予防などを掲げた。

商業・農業分野では、商品券事業などの物価高対策や、生活者や商工業者、農家などへの支援、市内企業や農家への就職・定着の後押しを盛り込んだ。

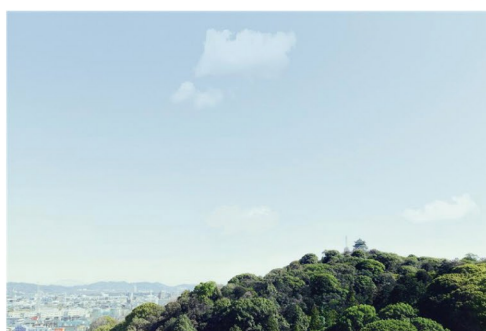
インフラ・安全対策分野



では、企業誘致や渋滞緩和策の取組、広域連携による災害時相互支援体制の構築、コミュニティバスの在り方検討を位置付けた。

行政分野では、市役所のDX化や地域団体の業務見直し、働きやすい職場づくりなどを通じた市民サービスの向上を掲げた。

厳しい財政状況の中、限られた資源を有効活用し、各政策の目的を職員と十分に共有し、力を合わせ、全世代が安全で安心して暮らし続けられる「選ばれるまち小牧」の実現に向けて、着実に取り組んでいく。



生活者の支援

問

生活者に寄り添った積極的な支援を！

近年異常なまでの物価高騰は行政や企業のみならず、家庭に対しても大きな影響が出ている。小牧市においても様々な形で生活者の支援を行ってきたが、今後も必要に応じて小牧市で生活する方々への支援を行っていく必要があることから次の点を問う。

①本市における物価高騰対策について問う。

②こまきプレミアム商品券事業の今後の展望について問う。

答

①これまで、国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し、市内私立保育園等の負担軽減、こまきプレミアム商品券、学校給食費の保護者負担額の引き下げなどの物価高騰対策を行ってきた。昨年12月には、国の補正予算による追加交付を受け、市民1人当たり4000円分のくらし応援商品券の支給を決定し、概ね配布を完了した。

また、国の交付金と県の補助金を活用して小学校給食費を完全無償化するほか、中学校給食費についても令和8年度に限り第1子分を無償化することで完全無償化する。さらに、こまきプレミアム商品券については引き続き20%のプレミアム率の商品券を発行する。

②令和8年度についても、令和7年度同様、国の交付金を活用し、20%のプレミアム率、12万セット、総額14億4000万円の規模で実施するとともに、一部を電子化する。

電子化については、令和7年11月に、小牧商工会議所から、紙の商品券は残しつつ、会議所が中心となつて開発に取り組むシステムを活用し、一部を電子化したことの要望を受けたことを踏まえ、令和8年度は実証実験として実施する予定をしている。

この実証実験を通して、取扱店舗の反応、利用者である市民の皆様のご意見などを踏まえ、評価検証を行い、その後の取組について検討してまいりたいと考えている。

●その他の質問

- ・ 施政方針
- ・ 多文化共生





日本共産党小牧市議員
猪飼 健治



動画をチェック

反社会的宗教活動に対する市長の政治姿勢

問 ①これまでの市長の旧統一教会との関わりを問う。②接触を持った令和元年当時の、反社会的活動をしているとの認識はなかったのか問う。③現在の市長の旧統一教会との関わりを問う。④今後旧統一教会と関わりを持たず、活動を市政に持ち込まないか問う。

答 ①過去から現在に至るまで、当該団体の会員（信者）であった事実は一切ない。2019年に不注意から当該団体が関係していた行事等に参加したことはあるが、教義への賛同や入会手続を行った事実はない。令和4年8月29日付で、国民民主党愛知県連に対し、当該団体及び関連団体と一切の関係を断絶する旨の誓約書を提出している。②当時、私自身において、旧統一教会が反社会的な活動を行っている団体であるという具体的かつ明確な認識はなかった。当該団体をめぐる社会的問題や司法判断、国としての対応が明らかになる中で、結果として不適切な団体と接点を持ったこと自体が軽率であった。過去の認識の不十分さについては率直に反省している。③現在、旧統一教会との関わりは一切なく、今後も関わりを持つことはない。④私は、過去に

当該団体と接点があった事実を厳粛に受け止め、一切の弁明をすることなく、自らの不明を反省し、市民の皆様にご心よりお詫びを申し上げる。今後、当該団体とは一切の関係を遮断することをここに改めて誓う。今後は失った信頼を一日も早く回復できるよう、市民全体の利益を第一に考え、憲法及び法令に基づき、公平中立な立場で市政運営に邁進していく。疑念を抱かせるような行動は断じて行わないことを、職務遂行の姿をもって示していく。

篠岡地区における学校再編

問 ①パブリックコメントでは、再編案に対して賛成と反対どちらの意見が多かったか問う。②パブリックコメント後の段階で地域住民合意ができていないと考えるか問う。③学校再編による通学距離と通学時間の増加の見込みを問う。④来年四月の第一期再編時期を白紙にしないか問う。

答 ①一部に学校再編に慎重論があることは十分認識しているが、意見の多くは学校再編自体に反対ではなく再編時期や通学等に対する不安を示す意見と受け止めている。令和9年度の学校再編に向け、引き続き児童生徒や保護者、地域住民の不安等の解消に努める。②「学校を考える会」などで篠岡地区は児童生徒数の減少が著しく、学校再編が避けては通れないことを丁寧に説明するとともに、広報活動の充実にも努めてきたことから、子どもたちのよりよい教育環境のため、学校再編の必要性は多くの

方に理解をいただいていると考えている。その上で通学や子どもたちのケア等について不安や心配の声があることから、令和8年度は、学校間交流、スクールバス体験乗車会や説明会を実施し、学用品等の取扱いを早期にお知らせするなど、万全の準備を整えていく。③小学生ではスクールバスの導入により、逆に遠距離通学の状況が改善されると見込む。再編前の最長の徒歩通学の2.1kmが、バス対象範囲を見直したことから、再編後は最長1.7kmとなり、通学時間が短縮される。スクールバス通学者のバス乗車時間は5分から25分程度と想定しており、通学ができる範囲と考えている。中学生の遠距離通学者は自転車通学となり30分以内の通学が可能と見込んでいる。④子どもたちが多様な考え方に触れ、社会性を養いながら成長していくためには一定の学校規模に近づけていくことが必要。今後の推計に基づく児童生徒数の減少の状況を鑑みると学校再編に猶予はなく、可能な限り早く再編を行う必要がある。最短で実施が可能な令和9年度とした。第2期再編については、児童生徒数の推移や校舎の状況等を見ながら、あらためて保護者や地域の意見をお聴きしながら決定していく。篠岡地区の学校再編はこれからの1年間こそが真に重要な時間であり、現在とこれから子どもたちのため、地域に誇れる、愛される学校を創り上げていきたい。

●その他の質問

・自治体DX
・こまき巡回バス「こまくる」の再編





公明党小牧市議員
加藤 晶子



動画をチェック！

教育環境の整備

問

①「NEXT GIGA」の取組状況について伺う。②不登校対策として、校内サポートルームの活用状況と課題について伺う。また「教育支援センター」の整備について、どのように考えているか伺う。



答

①令和6年度以降をGIGAスクール構想第2期(NEXT GIGA)と位置づけ、1人1台タブレット端末の更新や各校のインターネット回線増速を行った。また、ICT支援員の配置やICT機器の研修を行うなど、教員が安心してICTを活用できる環境を整備している。NEXT GIGAでは、不登校児童生徒やディスレクシアなど、さまざまな困難を抱える子どもたちへの支援としてICTを活用することが求められており、令和8年度には不登校支援用教育メタバースの導入を予定している。加えて、A型デジタルドリル等を活用し、子どもたちが、より主体的に学べるICT活用のさらなる充実を図っていく。

②令和6年度に市内全小中学校に校内サポートルームの整備を進めた。各学校が一人一人の状況に合わせたサポートに努めており、設置の効果が感じられるようになって

予算編成

問

子どもを安心して育てられる環境整備について。

①「すくすく子育て応援事業」において新たに導入されるデジタルギフトの内容について伺う。
②「こども誰でも通園制度」の取組について伺う。
③ひとり親家庭等支援事業の中で新たな取組について伺う。



答

①妊娠期から出産・子育て期まで安心して出産・子育てができるよう相談に応じ、必要な支援につながる伴走型相談支援と子育て支援サービスの利用負担軽減を図る経済的支援を一体的に「たまごギフト」「ひよこギフト」として実施し、それぞれ現金5万円を支給している。現在の現金給付では申請から振込までに時間がかかり迅速

な支援につなぐりにくい課題があるため、これまでの現金給付に加え、申請から受取までスマートフォン等で完結できるデジタルギフトの導入を検討する。デジタルギフトは、ベビー用品やマタニティ用品など日々必要となる商品を自由に選んで利用できるため、必要な支援を必要なタイミングで迅速に受けることができる。産前産後の体調が優れない時期や育児で忙しい時期など自宅に居ながら支援を受けることは大きな利点であると考ええる。

②こども誰でも通園制度は本年4月から実施する。様々な経験を通じて子どもの成長を支援するとともに保護者の孤立感・不安感の解消や育児負担軽減を目的とし市内11か所の施設で実施する予定。利用に当たっては国の専用システムにて手続を行い、スマートフォンで申請や希望施設の予約ができるが、利用前には希望施設で対面の面談が必要となる。職員研修の実施や保育士の巡回により、保育の質の確保に取り組む。

③令和8年度の新たな取組として、離婚や別居により一方の親と離れて暮らす家庭を対象に親子交流を支援する新たな補助制度の創設を検討する。第三者機関の支援を受けて親子交流を行う場合、1回あたり上限1万円、年間10回まで補助金を交付し、子どもの健やかな成長を応援する。また、令和7年12月に支援を拡充した養育費確保支援助成金を活用した養育費の取決めを、必ず行っていたくよう働きかけていく。

●その他の質問
・施政方針

中日ドラゴンズの2軍本拠地移転に伴う誘致



余 政 会
余 語

智



動画をチェック!

問

ナゴヤ球場老朽化による2軍本拠地移転に伴い、本市は誘致に向けた検討を始めた。①誘致に対しての認識を問う。②候補地の場所及び他の候補地の考えを問う。③本市の優位性を問う。④波及効果を問う。⑤市内横断的な検討体制の設置を問う。

答

①2軍拠点の誘致は、都市イメージの向上、経済の活性化や交流人口の増加の効果などが期待でき、市にとって夢のある取組であると認識している。②市民球場周辺は一つの有力な候補地であり、施設配置や既存インフラとの親和性を含め、可能性の整理を進めている。③陸路・空路で移動の利便性が高いこと、多様で充実したスポーツ施設があり、スポーツ振興の実績があること、プロ野球に対する市民の関心や機運が醸成されていることは強みと認識している。④地域経済の活性化やまちの魅力向上など、多岐にわたる効果が期待できる一方、交通渋滞など市民生活への影響や財政的な負担も考慮し、検討していく。⑤今後、球団から具体的な条件が示され、検討が本格化した場合には、市内横断的な体制を速やかに構築し、緊密に連携しながら、対応していきたい。



視覚障がい者への支援



公明党小牧市議団
星 熊 伸 作
星 熊 伸 作



動画をチェック!

問

①公共施設内のサポート体制について問う。②公共施設内にナビレンス(移動支援ツール)を導入する考えはあるか問う。③外出を支援するボランティアの育成について問う。

答

①本庁舎では、点字による案内、手すりや点字誘導ブロック、呼び出しインターフォンを設置するなどし、当事者の立場に立った声掛けなど当事者の不安を軽減できるよう、ソフト面での支援にも努めている。②導入にあたっては、対象施設の選定、「タグ」の設置箇所や提供情報など検討すべき事項もあり、こうした分野の技術等の進化も速い状況にあるため、視覚に障がいがある方の移動支援に有効な手法等について、他自治体の先行事例等を調査する。③市社会福祉協議会のボランティアセンターが障がい者ガイドボランティア養成講座を隔年で開催し、人材の育成や発掘に努めている。市も代読・代筆支援基礎講習会を隔年で開催し、視覚に障がいがある方への接し方などについて学ばせる機会を設けている。



学校現場における救急搬送時の選定療養費



公明党小牧市議団
佐 藤 早 苗
佐 藤 早 苗



動画をチェック!

問

学校でこどもがけがや体調を崩したりして学校の判断で救急搬送された際、搬送先の医療機関によっては「緊急性が低い」と判断された場合に選定療養費が発生し、予期せぬ保護者負担となるケースがある。学校現場でも緊急性の判断にためらう時があるのではないかと。こどもたちの命を守る救急搬送が保護者にとって経済的不安要素とならないように、また学校現場においても安心して救急要請ができる環境整備のために選定療養費助成制度を設ける考えはないか伺う。

答

助成制度は、他自治体でまだ事例が少なく、対象者が児童生徒のみでなく自治体全体で決められている状況である。また、選定療養費制度は国の医療政策の一つで医療機関の機能分化という役割分担を推進するための仕組みであり、助成制度創設によってその役割分担が機能しなくなる恐れがあるという弊害についても慎重に考えるべきものと考えている。そのため教育委員会としては、現時点で学校管理下の児童生徒を対象とした助成制度を創設する考えはなく、他自治体の動向などを注視していきたいと考えている。



ウォーカブルなまちづくり



こまき民主市議員
小川 眞由美



動画をチェック!

問

地域活性化・健康促進へ

- ①ベンチを置くまちづくりの考えを問う。
- ②「ヘルスラボ・こまき」での具体的な取組や周知を問う。
- ③ウォーカブルシティへの将来像としての市長所見を問う。



答

①にぎわいと活気に満ちた中心市街地とするための取組の一つとして、シンボルロードにおいて飲食やウォーキング時の休憩等に使っていただけるような場所やベンチ設置を進めている。

②ラピオ館内を歩いて、気軽にウォーキングを体験できる「全天候型ラピオーク」を実施している。また、ラピオ5階の多世代交流プラザ内に、ヘルスラボ・こまきまでのルートを表示し、5階にお越しの利用者が迷わず来館できるよう改善するなど、周知と利用促進を図る。

③ウォーカブルなまちづくりは、健康づくりや地域のにぎわい創出、高齢者などの社会参加を促進する取組であり、ハード面での環境整備とソフト面での取組を両輪として、力強く推進していく。



過去最低となった選挙投票率を受けて考える今後の選挙運営のあり方



無会派
伊藤 皇士郎



動画をチェック!

問

- ①今回の市議会議員補欠選挙の結果（投票率16・87%）の受け止めと市長選挙が無投票となったことの影響について問う。
- ②今回の選挙日程は必要十分だったと考えるか問う。
- ③投票率向上の取組について行ったことについて問う。

答

①市議会議員補欠選挙の投票率が低かったのは、市長選挙が無投票となったことが、大きな要因と考えている。投票率については、事実としてしっかり受け止め、向上に努める。②選挙期日は、選挙の周知や投票環境の整備、立候補する方の準備期間なども踏まえて決めるが、今回は市政の停滞を招かないよう市長不在の期間を短くすることも考慮した。③公共施設のデジタルサイネージを活用した選挙啓発を行っているが、昨年の参議院議員通常選挙以降は、若い世代を意識し、図書館やこども未来館でも啓発を実施している。

この他、障がいがあるなど何らかの事情により支援を求める方が投票に行く前に支援内容を確認できるよう、市ホームページの内容を見直すなどした。



小牧市地域包括支援センター



日本共産党小牧市議員
安江 美代子



動画をチェック!

問

- ①業務は増えており、職員不足になっているが市はどう対応しているのか問う。
- ②職員不足は現場の負担増、市民サービスの低下につながる。市は委託法人に、委託料に見合った職員配置と処遇改善を求めるべきだ。見解を問う。
- ③篠岡圏域は高齢化が顕著であることから、包括支援センターの新設が必要だと思いが見解を問う。

答

①令和7年4月から職員の常勤換算の導入や複数センター間での職種合算配置など柔軟な職員配置を可能としている。また、認知症地域支援推進員の配置、高齢者1500人ごとに1名の専門職を追加配置できる予算措置、地域支え合い推進員や民生委員など多様な主体との連携、居宅介護支援事業所へのケアプラン作成委託など、支援体制の強化に取り組んでいる。②委託先法人にセンターの役割の重要性について理解を求めるとともに、今後も処遇を含めた安定的な運営について意見交換等を行い、体制強化に努めていく。③地域の貴重な依存先となっているため、現時点では弾力的な職員配置や多様な主体との連携、継続的な財政支援により適正な運営確保に努める。





無会派

新木津用水路改修工事



動画をチェック!

問

今後架け替えが必要な橋梁工事はー

東海農政局により凡そ10年行われている改修工事も佳境である。橋梁架け替え等の工事の際は、地元地区への丁寧な説明、通過車両への予告・迂回路案内等を要望する。

①新木津用水路をくぐる伏せ越し用水路の取扱いを問う。

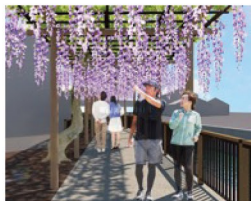
②後川合流点の調節池工事の概要を問う。

③岩崎清流亭の藤の整備計画を問う。

答

ー令和8年度に久保一色・四重橋を予定

①関係機関に事前調査し施工方法を決め、工事に支障となる箇所は機能を損なわないよう改修する。従前どおり農地への影響はない。②久保一色地区の浸水被害軽減に向け、今後予定している後川河川改修に先立ち、新木津用水路への排水量を調節する目的で、貯留量約3500m³の調節池整備を計画している。③東海農政局が行う岩崎清流亭の藤周辺の用水路改修工事の完了後に、市が令和9年度に測量・設計、10年度以降に藤棚等を整備し、藤を後世に残していきたい。



無会派

黒木明



動画をチェック!

問

田縣神社豊年祭は、市指定無形民俗文化財に指定され、毎年3月15日は市全体で祭りを盛り上げているが、平日開催でも子どもに祭りを体感させたいとの声が届いている。

3月15日が平日の場合でも「校外学習」や「ラーケーションの日」を利用して豊年祭への児童生徒の参加の可能性について問う。

答

毎年、田縣神社豊年祭が開催される3月15日は、学校として1年間のまとめを行う時期であり、「校外学習」の日程を設定することは難しい時期である。

一方、愛知県の「ラーケーションの日」は、子どもが家族とともに学校外での体験・学習活動を行う場合に「欠席扱いとしない」制度である。

教育委員会としても、引き続き、「ラーケーションの日」の周知に努めるので各家庭の判断により活用していただければと考えている。



日本共産党小牧市議団

山田美代子



動画をチェック!

問

①近年のごみの分別を問う。②ごみ集積場のガラス対策を問う。③令和4年度から6年度のガラス除けネットの価格と配布枚数を問う。④ジャンボメッシュの効果と今後、市として推奨していくのか問う。

答

①廃棄物を20品目に分別し、「剪定枝類」等の行政回収の開始、「プラスチック製容器包装」と「プラスチック製品」の一括回収、「発火性危険ごみ」の設定等先進的な取組を実施。②ガラス除けネットやメッシュパネルの無償配布、集積場整備費の補助、燃やすしかないごみの原則午前収集等を実施。③配布枚数(市の購入単価)は、ネット大・小の順で、令和4年度は405枚(2090円)・500枚(1303円)、令和5年度は429枚(2288円)・440枚(1408円)、令和6年度は526枚(2434円)・457枚(1503円)。④ガラスに荒らされにくくなる、折畳み式でスペースを取らず通行の妨げにならない等の効果が考えられるが、設置に一定の面積を要し設置場所に苦慮する等もあるため、今後も多様な製品等の情報収集に努め、区からの相談に適切な提案ができるよう備える。





無会派
大上 利幸



動画をチェック！

問

①市民への説明責任は十分であったのか伺う。②いつからの関係なのか伺う。③過去の不注意で関係があったそうですがどのような不注意なのか伺う。④ネット検索すれば反社会的な団体であるとすぐに情報が見つかるが調べなかった理由を伺う。⑤信頼回復のため広報・ホームページへの掲載やタウンミーティングで説明する考えはあるか伺う。

答

①過去から現在に至るまで旧統一教会の会員(信者)であった事実はなく、教義への賛同や入会手続も行っていない。これまでも市民の皆様から問われた際には、誠実に事実関係を説明してきた。今後も疑念を抱かせることがないよう説明責任を果たしていく。②2019年に不注意から関連イベントに参加したことがある。③過去に当該団体との接点があった事実を厳粛に受け止めている。政治家として公職者として自らの不明により疑念を招いたこと自体が痛恨の極みであり、一切の過ちを認め、深く反省している。④当時、旧統一教会が反社会的な活動を行っている団体との認識はなく、結果として不適切な団体と接点を持ったこと自体が軽率であったと認識している。⑤そのような考えはない。

その他の質問

- 献血の推進
- 家庭ごみの再資源化率向上
- ごみ減量とSAF
- 小牧山史跡公園の休憩施設

(星熊 伸作)
(佐藤 早苗)
(小川 真由美)
(黒木 明)



3/30

まことままはら保育園を視察



増大する保育需要に対応し、安全・安心で快適な保育サービスを提供するため、4月1日に開園した私立保育園「まことままはら保育園」を福祉厚生委員会の現地調査として視察しました。

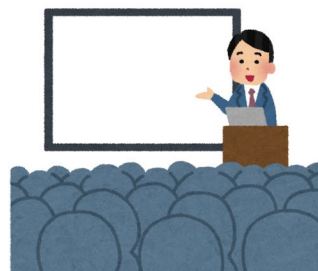
1/21

議員研修会を実施

1月21日に、(株)廣瀬行政研究所廣瀬和彦氏を講師に迎え「議会におけるハラスメントについて」をテーマとして、様々なハラスメントの実例や防止対策についてご講義いただきました。

議会活動における言動は、市民の皆さまからの信頼に直結することを改めて確認し、相手の立場や感じ方を尊重したコミュニケーションの重要性を学びました。

市民の皆さまに信頼される議会であるために、議員としての姿勢を見つめ直し、互いを尊重し合う環境づくりに努めてまいります。



議会報告会と市民の意見を聴く会を開催します

令和8年 小牧市議会

議会報告会と 市民の意見を聴く会

5月9日(土)

小牧市役所

本庁舎6階 601会議室

10:00~11:30

(9:45開場)



© オオシカケンイチ・小牧市観光協会

第1部 議会報告会

令和8年3月議会における
審議内容について



市議会ホームページ

事前申込 不要

どなたでもご参加いただけます!!

第2部 市民の意見を聴く会

3つの常任委員会ごとに
テーマを設けて意見交換します

総務委員会

防災・環境の視点からのまちづくり

福祉厚生委員会

安心して外出できる移動支援

文教建設委員会

夢のある公共交通

お問い合わせ

小牧市議会事務局
9:00~16:00

TEL:76-1168 (直通)FAX:76-0360
E-mail: gikaigiji@city.komaki.lg.jp

市民に開かれた、信頼される議会を目指し、「議会報告会と市民の意見を聴く会」を開催します。

第1部の議会報告会は、令和8年3月に開催された3月議会における重要課題等の審議内容について報告します。

第2部の市民の意見を聴く会は、3つの常任委員会がそれぞれにテーマを設け意見交換を行います。

ご来場お待ちしております
おります!



▲詳細はこちら

表紙写真を募集

小牧市の魅力を議会だよりの
表紙に掲載しませんか?



- ◇募集内容 市内の行事・風景など、小牧市の魅力が伝わる写真
- ◇締め切り 7月3日(金)
- ◇提出先 小牧市議会事務局
- ◇掲載は議会だより8月1日号です。



▲詳細はこちら

次回定例会のお知らせ(予定)

- ・6月1日(月)本会議(招集日)
- ・6月24日(水)本会議(最終日)
- ・市議会ホームページに年間予定を掲載しておりますが、正式な日程は、招集日前に開催される議会運営委員会において決定します。
- ・議事の都合により、日程が変更になる場合があります。